

## 防災資機材を

### 購入しました ～宝くじ普及広報事業～

財団法人自治総合センターは、宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、コミュニティ活動に助成を行うことにより、コミュニティの健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報を行うコミュニティ助成事業を行っています。

黒潮町でも、この事業を活用して下田の口地区自主防災組織に防災資機材を購入することができました。



宝くじは、広く社会に役立てられています。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

## 防災倉庫を整備 下田の口地区自主防災組織

下田の口地区自主防災組織は、平成15年に設立されて以来、防災マップの作成、避難道や手すりを出役で整備するなど活発な活動をしており、防災意識の高い地区です。

これらの活動が評価され、コミュニティ助成事業の対象となり、資機材の整備をすることができました。

主な資機材は、防災倉庫・ワンタッチテント・四つ折り担架・救急箱・防炎かまどセット・簡易トイレ・ダイナモLEDランタンラジオ・トランジスタメガホン・小電力トランシーバー・折



りたたみマット・バック毛布・チェーンソー・ノコギリ・ナタ・ボール・かけやなどで、このほかにも災害発生時に有効に活用できるものを購入して整備しており、今後は、災害発生時だけでなく、防災訓練や地域のイベントでの活用を検討しています。

下田の口地区自主防災組織の森岡健也会長（下田の口区長）は、「今回助成いただいた防災資機材は、下田の口地区が出役で行った避難道整備など、防災に対する活動などが評価されたものであり、これまで活動を推進してこられた諸先輩に深く感謝しています。地区の総会で皆さんに披露し、防災資機材の活用や自主防災組織のあり方などを協議しました。近い将来発生するといわれる南海地震とその津波に備えるため、今後も避難道の整備や訓練を行い、防災意識の高揚を図っていきます」と、今後の活動方針を考えていました。

## 津波緊急避難場所 案内板を設置しました



### 新規設置場所

- ・ 鈴漁港（漁港入口）
- ・ 熊野浦集会所
- ・ 佐賀歯科診療所
- ・ 佐賀町民館前（保育所側）
- ・ 灘漁港（公園駐車場）
- ・ 入野の浜

津波の緊急避難場所案内板を、町内に6カ所設置し、町内に設置している緊急避難場所案内板は23カ所となりました。

町民の皆さんはもとより、黒潮町の地理に詳しくない方でも、津波が発生した場合に安全な場所はどこにあるのか知っていただくために設置したものです。

案内板に示している避難場所の多くは、迫り来る津波を回避するための一時的な避難場所です。

また、案内板に表示されていない場所でも近くに安全な高台がないか日頃から知っておくことも重要な津波対策となります。

表示内容は、案内板を設置している現在地と近くにある避難場所の位置、周辺の道路の状況、津波の心得などを、わかりやすいイラストで示しています。

自分の住んでいる地域の避難場所を再確認し、津波から一刻も早く逃げる道、場所を記憶にとどめましょう。